

氏名

フジタ ユウコ
藤田 優子

所属	健康増進学講座口腔機能発達学分野		
職名	助教		
最終学歴	九州歯科大学大学院歯学研究科	学位	博士（歯学）

専 門 分 野		
教 育 実 績	担当講座名称	単位数 講義時間数 実習時間数 学科・院の別
	成長発育総論	1 単位 1.5 時間 時間 歯学科
	小児歯科学Ⅱ	1 単位 3.0 時間 時間 歯学科
	小児歯科学Ⅱ（実習）	1 単位 時間 32.0 時間 歯学科
	口腔機能発達学Ⅰ	2 単位 3.0 時間 時間 大学院
小児歯科学Ⅰ（ベーシックコース）	4 単位 時間 120.0 時間 大学院	
大学運営における主な役職履歴（過去5年間）		
研 究 分 野		骨・関節疾患、骨形態計測学、口腔機能、歯の発育
研究課題	課題名	(1) 口腔機能の発達と身体の成長発育との関連に関する研究 (2) 頭蓋・顎顔面の発育障害とその治療法に関する研究 (3) カリエスリスクの評価法に関する研究 (4) 歯の発育と萌出に関する調査研究
	キーワード (5つまで)	成長発育, 骨形態計測, 口腔機能, 齲蝕, マイクロアレイ
	共同研究等の実績	永久歯の先天性欠如に関する総合的研究（鹿児島大学、鶴見大学など）
研 究 業 績 (著書・発表論文等) (最新の5編)	Fujita Y, Ohno Y, Ohno K, Takeshima T, Maki K. Differences in the factors associated with tongue pressure between children with Class I and Class II malocclusions. BMC Pediatr 28:21(1);1-9, 2021.	
	Ohno K, Fujita Y, Ohno Y, Takeshima T, Maki K. The factors related to decreases in masticatory performance and masticatory function until swallowing using gummy jelly in subjects aged 20-79 years old. J Oral Rehabil 47(7):851-861, 2020.	
	Takeshima T, Fujita Y, Maki K. Factors associated with masticatory performance and swallowing threshold according to dental formula development. Arch Oral Biol 99:51-57, 2019.	
	Fujita Y, Maki K. Association of feeding behavior with jaw bone metabolism and tongue pressure. Jpn Dent Sci Rev 54(4):174-182, 2018.	
Fujita Y, Maki K. Associations of smoking behavior with lifestyle and mental health among Japanese dental students. BMC Med Educ 16:18(1):264, 2018.		
産学官連携実績 (主要3件)	小児う蝕発症予測におけるチェアサイドStreptococcus mutans検出キットの有用性評価を目的とした臨床研究（株式会社ジーシー、鶴見大学、ミュンヘン大学）	
産学官連携 可能・希望分野		
取得した実用新案特許等 (主要5件)		
所 属 学 会 (主要5件)	日本小児歯科学会（専門医指導医、英文誌編集委員）、日本障害者歯科学会（認定医）、日本骨形態計測学会、国際歯科研究学会、日本口蓋裂学会	